



すびっこ
美術館

須和間幼稚園
あおき つばさ
青木 翼くん



お父さんと

無線操縦のレーシングカーで、お父さんと遊んでいるところを描いてくれた翼くん(6歳)。乗り物と恐竜とカブトムシが大好きな翼くんは、小学校に入ったら、お父さんと夜の森へカブトムシを探しに行ってみたいそうです。

ぼくの夢
わたしの夢



夢は…。 “人の役に立つ仕事をする事”

村松小学校6年 ● 鹿内美里

私の夢は、漠然としていますが、人の役に立つ仕事をしたいと心に決めています。

きっかけは、平和大使として広島を訪れたことでした。そこで私は、国と国、人と人が争い合う様子を見て、やりばのない怒りと悲しみを感しました。

それに、今も世界のどこかで、紛争や貧困で苦しんでいる人たちがたくさんいることも知りました。だから、将来はそのような人々の手助けになる仕事をしたいと考えています。

そのために今の私に必要なことは、まず身の回りにいる人たちに感謝して生活すること、そして、いろいろなことにチャレンジしながら、自分を高めていく努力をすることです。

自分の心にある怠け心と戦いながら、諦めず、夢に向かって頑張りたいです。

わが家の子育てノート

表紙・雨澤綾

わが家は、夫と私、航太郎(1歳11か月)の3人家族です。

航太郎は3月で2歳になります。外で遊ぶのが大好きで、毎日のように公園を走り回って、元気に過ごしています。

初めての出産は陣痛がとにかく長かったため、あまり覚えていません。病室に息子が来て、抱っこしたときに実感が湧いてきて、涙があふれてきました。里帰り出産だったので、自宅に帰ってきてからは、家族3人だけの生活に不安だらけで、どたばたした新生活がスタートしました。

周りに人がたくさんいた実家とは違い、昼間は息子と2人きり——その時間が長く、息が詰まることもしばしば……。つらいなと思いつつ、その時間が多かつたように思います。なるべく外に出ようと思い、公園や児童センターへ行って、気分転換をするようにしていました。そこでは、多くの出会いがあり、一緒に遊んだり、悩みを相談できる友達ができたりと、次第に不安も和らいで子育てを楽しめるようになりました。

息子が3か月のころ、川崎病になり入院しました。幸い後遺症も



なく回復しましたが、高熱が続き、泣くこともできない息子を前に、何もできない自分が歯がゆく、とてもつらかったです。健康が何より大事だなと、あらためて感じた出来事でした。その後は、例え泣いていても、言うことを聞いてくれなくても、元気でいてくれればそれでいいと思えるようになり、穏やかな気持ちで子どもと向き合うことができました。

最近の息子は、よく笑い、よく食べて、よく寝る子です。少しずつ言葉が出始め、こんなことを考えていたのだなど、新しい発見がたくさんあり、これからはますます楽しみです。子どもの笑顔は本当に癒されるし、元氣が出ます。子育てが始まってまだ2年ですが、子どもの成長は本当に早いと感じています。これからも子どもとふれあえる時間を大切にしながら、成長を見守っていきたいと思います。私たち家族を支えてくださる皆さんに感謝の気持ちをお忘れずに、家族の時間を大切に過ごしていきたいと思っています。